

「側開胸による心房中隔欠損症手術における分離肺換気の麻酔管理の検討」について

- 研究の背景と目的

小児の心臓手術では、手術の痕が胸の真ん中（胸骨正中切開）となる術式の他に、手術の痕が脇の下で小さい（側開胸）術式があります。当センターでは平成26年より「小児の心臓手術（心房中隔欠損症）の側開胸手術」が施術されるようになりました。

この手術の麻酔管理は特殊で、「右肺を萎ませる（分離肺換気）」を行います。「分離肺換気」をするには特殊な医療器具が必要となり、成人用の器具は充実していますが、小児用の器具は少なく麻酔管理に工夫が必要不可欠です。

上記手術を受けるお子さんに対し、お子さんの体格などに合わせて麻酔方法を選択し、これまで安全に麻酔管理を行ってきました。実際にどのような工夫をすることで安全な麻酔管理ができたのかを過去の記録を追って調べ、今後のより良い麻酔管理に繋げることが目的です。

- 研究の意義

過去の麻酔管理を調べ、手術前・中・後の呼吸状態を分析し、分離肺換気をしていない麻酔（手術の方法が正中切開）の時と比較することで、より良い分離肺換気の方法が見出され、今後のより良い麻酔管理に繋がる可能性があります。臨床的意義が大きいものと考えます。

- 対象者

当センターで平成26年4月1日から平成29年9月30日までに心房中隔欠損症の手術を施術された患児。

- 観察・検査項目と方法

本研究の対象となった症例の麻酔記録や電子カルテから、下記の観察・評価項目に関するデータを収集します。

- ・ 患者背景（年齢，性別，身長，体重，疾患）
- ・ 換気の方法（分離肺換気で使用した機器など）
- ・ 手術前・中・後の呼吸状態（酸素や二酸化炭素の値，血圧・心拍数の値，胸部レントゲン写真・CT など画像データ）
- ・ 術後合併症

- 学会や論文での発表

本研究で分析された内容は学会・投稿等でデータを公表します。

- 同意について

個人情報とは特定されない既存の情報を用いた後ろ向き研究のため同意書は取得しませんが，該当されると思われる症例で，意志表示によって研究への参加を撤回することは可能です。

- 個人情報に関する配慮

収集したデータをデジタル化する際，患者氏名や ID など患者個人が特定できる情報は一切記録しません。紙媒体をセンター外に持ち出すことはありません。

情報の管理について責任を有する者の連絡先

研究への利用を撤回する場合，その他の連絡先

北海道立子ども総合医療・療育センター 麻酔科

名和 由布子

中尾 麻琴

住所：〒060-0041 北海道札幌市手稲区金山1条1丁目240番6

電話：011-691-5696（内線6023） FAX：011-691-1000